

大分市地域おこし協力隊 卒業活動報告

文化・芸術振興部門 佐賀関支所
渡邊和己



2016
～2019



大分市地域おこし協力隊 文化・芸術振興部門 佐賀関支所
卒業活動報告 渡邊和己

報告発表内容

- 【1】「3年間の活動を振り返る」
- 【2】「外部との連携の広がり」
- 【3】「大分市子ども風土記」新作制作中
- 【4】「『地域おこし』について考えたこと」
- 【5】「協力隊卒業後の展望」

大分を面白く

(1) 3年間の活動を振り返る

■ 1年目

- ・佐賀関の物語や、風景を取材しながら、写真撮影
- ・地域のサイネージ動画制作
- ・物語の人形を制作、写真撮影

■ 2年目

- ・大分市子ども風土記リーフレット制作・配布
- ・旧大志生木小学校アトリエ活用

■ 3年目

- ・「大分の音楽」他撮影、動画制作
- ・大分市子ども風土記 新作制作中

「B V N G O 大友物語」

(3) 大分市子ども風土記
第3弾 制作中



大友宗麟

「B V N G O 大友物語」

(3) 大分市子ども風土記
第3弾 制作中



立花道雪

地域おこし とは何だろう？

(4) 文化・芸術振興部門
として考えたこと

■初心に戻り、やはり大切と思えた10の事柄

- (1) 外部に目を向ける
- (2) 連携の重要性
- (3) 敬意と好意
- (4) 公私混同をしない
- (5) 経済が動かなければ、文化は育たない
- (6) 地域独自の文化は「温故知新」にあり
- (7) プロ意識を持つことの必要性
- (8) ディレクターとディレクションの必要性
- (9) 中・長期的な考えの必要性
- (10) タテよりもヨコの関係を築こう

地域おこし とは何だろう？

地域の「商品価値」を
高めること（渡邊自論）

■初心に戻り、やはり大切と思えた10の事柄

- (1) 外部に目を向ける
- (2) 連携の重要性
- (3) 敬意と好意
- (4) 公私混同をしない
- (5) 経済が動かなければ、文化は育たない
- (6) 地域独自の文化は「温故知新」にあり
- (7) プロ意識を持つことの必要性
- (8) ディレクターとディレクションの必要性
- (9) 中・長期的な考えの必要性
- (10) タテよりもヨコの関係を築こう

地域おこしへ何?

「プロ」について
渡邊が学んだこと

ご利用案内

- 301スタジオでは、土・日・祝日に合成撮影体験「空飛ぶ魔法のじゅうたん」を開催しています。（※1つでは、ご興味下さい）
- 定期的に、子供～大人までを対象とした簡単に映像制作体験ができるワークショップを開催しています。
- 映像制作支援ゾーンでは、撮影機材（DVカメラ、照明セット、マイク等）、3階スタジオの収録システム機器、4階編集室の編集システム機器の無料貸出を行っています。編集室では、ノンリニア編集（プレミア及びにファイナルカットプロ）ができます。ご利用は、県民制作支援ゾーンの受付窓口にご相談下さい。
- 3階のミュージアムショップでは、オリジナルグッズやハリウッド映画の関連グッズ、Tシャツ、DVDや映画制作の専門書等の販売をしています。

開館時間
9:30～17:00（＊午後営業開始）・入場は16:30まで

休館日
月曜日（祝日除く）・12月27日～1月5日

入場料

	個人	団体 (20人以上)	会員券
大人	500円	400円	2000円
小人 (小・中学生)	250円	200円	1000円

MAP

（**バス利用**）
JR西武新宿駅から10分・JR川口駅から14分
JR東京駅から約2時間50分
（**車両利用**）
東北自動車道・大森方面より
→川口西J.C.で下りて約15分
三郷方面より
→川口東J.C.で下りて約15分
●都営高速川口線
東京方面より
→新橋出口で下りて約10分

（**お問い合わせ**）
SKIPシティ
彩の国ビジュアルプラザ
〒333-0844 埼玉県川口市上青木3-12-63
TEL 048-265-2500 FAX 048-265-2628
<http://www.skipcity.jp>

**映像制作体験
ミュージアムへ！**

映像の歴史、原理、そして映画制作のプロセスを展示のみならず、です。3Fには、映像制作や映像の不思議を体験できるコーナーがしているワークショップにおいて映像制作体験もできます。皆様とラクターとの交流を通じて、親しみやすく利用しやすいミュージアム

実際に装置を操作して楽しく学べる「参加体験型」のミュージアムあります。また定期的に開催ミュージアムガイドやインストラクターとの交流を通じて、親しみやすく利用しやすいミュージアム

ガイダンスルーム

1F ウェルカムトンネル

1Fのガイダンスルームは、映像制作への興味をかきたてます。2台あり、ミュージアムの楽しみ方のガイドや、子供たちの映像います。待ち合わせにもご利用下さい。

イントロダクション

100インチの大型ディスプレイが作品の上映を行って

地域おこしへ何?



森田芳光監督 インタビュー

**映画を作る環境は格段に進化している
自分が今20代だったらどんなに面白いだろう**

森田芳光

『の』ようなもの』で監督デビューを果たして以来、『家庭ゲーム』、それから『恋愛圖』、『横徹犯』など、ヒット作を連発。それが、同じ監督の作品とは思えないほど作風が異なり、発表するたび、観客にも映画界にも新鮮な衝撃を与えてきた。そして、常に新挑戦を掲げて続けている森田監督が、次にチャレンジしたのは、デジタルシネマだった。

『横徹犯』で35mmフィルムからHD24Pへ

「横徹犯」のためにフィルムから全編のHD24P撮影に変えたんですよ。今後のメディア展開も考えたときに、そもそもデジタルで撮ってあたはうがいいとは思っていないからね。たとえば映画を見ていくたまにはやはりデジタルでしょう。画面とか音楽の加工を入れても、画面の範囲が広がるという感覚でも、こんないいことはないですから、第一、フィルムと比べて面白がない。ただ、まだちょっと金がかかるうさぎけれども（笑）。フィルムからデジタルに変えるのに、特別に高価感がないものにならなかったですね。日本光学学院映画系で8mmの実験映画からスタートしたわけですが、8mmは24Pって、感覚的に似ているところがあるんですけど、どちらも結構分には合っているんじゃないかな。

「横徹犯」は、フィルムがデジタルかは誰る作品による。今、グググ、ループスがデジタル能力をもっているじゃないですか。製作には興行的にも、これがどんどん進んでいくと、そのうち、映画の映像からフィルムがなくなるんじゃないかな、って思うこともありますね。

と言うのは、フィルムの魅惑といつもは、撮影から映画までずっと守っているカメラマンを守るからじゃないけど、それ以外の人にはわからないんです。ましてや、観客にとってはフィルムに慣れる方だと勘違いするのも問題ですね。映像構成を生むためにデジタルはいいけれど、デジタルのためのデジタルにならなくてはダメだと思います。フィルムで見るの、デジタルで見るのには作るのによると思います。

DJから映像への転向

私もとくに日本の放送学科で、最初はDJを目指していました。それがどうして映像をやるようになったのかというと、その頃、たしかフィルム・アート・スペクタクルで入賞したのがぱっと聞かれていたんですね。高校野球もいましたが、こちらは決勝で向こうは甲子園で優勝したみたいに見えなんでしょうね。当時は、高校野球も決勝で向こうは決勝で向こうは甲子園で優勝したみたいに見えなんでしょうね。当時は、

それで映像に転向したのですが、意外と自然でした。DJをやりたかったのと、音楽鑑賞をされる方と一緒に映像を作りたい、フィルムアートを通して、ここにまた映像を作れるんだよ、という、映像の映画化と同じですからね。

それに、当時は上昇志向の度でしたよ。どこかで突出した人が出でること、あるいは高い評価をもらったりしないかなって思っていたんです。まあ、青春って感じかなあ（笑）。

CGのおかげで日本映画の可能性が広がった

そうやって映画を撮り始めて20年以上がたったわけですけど、この日あの映画界で私は映画をする生き残りきの、CGが全く使えないようになったんですね。おかげで、今まで映画ではできなかった題材が映画界にできるようになった。良い例が『ビギン』ですね。あれが1992年、6年前だつた頃に映画にならなかった、「少林サッカー」も含めて、スポーツのことで採り下さるかもしれない。まあ、映画ができるようになった。『ビギン』と『少林サッカー』が同じ日本に出てきたのは、まるで奇跡ですよ。

映画を作る環境は、ぱくが出てきたりよりもずっと進っていますよね。想像力を飛躍化させるシステムができたんですね。だから、若い人们はもう少し映画を生かして、もっともっと想像力なしと言いたいですね。正直、自分が今、20代だったら、どんなに面白かってなかなか言いづらい。誰もいない所で、8mm持って切り開いていったあの頃と比べると、今は本当に運営が整っていますよ。

PROFILE

1960年生まれ。映画監督として『家庭ゲーム』、『恋愛圖』、『横徹犯』などヒット作を連発。その後『恋愛圖』、『ビギン』、『少林サッカー』など、映画界に大きな影響を与えた。『恋愛圖』は、『モード』『恋愛圖』（原題：Love Cinema）、「ハラ」（吉永小百合主演）との並びで、第40回日本アカデミー賞長編映画賞を受賞。『恋愛圖』は、世界の映画祭で100以上の賞を受賞。『恋愛圖』は、映画監督として、新たな時代を拓く才媛として注目される。

Q

Q: 映画はいつから始めたとされています？

A: 映画は1960年に始まりました。1960年から1970年代初頭にかけて、映画監督として活動した人物たちがいました。しかし、彼らはまだ映画監督として活動していないのです。

Q: 映画はいつから始まりましたか？

A: 映画は、映画監督として活動している人物たちがいました。しかし、彼らはまだ映画監督として活動していないのです。

Q: 映画はいつから始まりましたか？

A: 映画は、映画監督として活動している人物たちがいました。しかし、彼らはまだ映画監督として活動していないのです。

地域おこし とは何だろう？

地域の「商品価値」を
高めること (渡邊自論)

■初心に戻り、やはり大切と思えた10の事柄

- (1) 外部に目を向ける
- (2) 連携の重要性
- (3) 敬意と好意
- (4) 公私混同をしない
- (5) 経済が動かなければ、文化は育たない
- (6) 地域独自の文化は「温故知新」にあり
- (7) プロ意識を持つことの必要性
- (8) ディレクターとディレクションの必要性
- (9) 中・長期的な考えの必要性
- (10) タテよりもヨコの関係を築こう

大分を面白く

夢への第一歩

起業のス、メ

チャレンジ枠新設!!

補助金総額
2,000
万円
(見込)

第17回 大分県ビジネスプランGP

応募期限 8/19(月) 17時 | 受付開始 6/3(月)
必着 | 17時 | あなたのビジネスプランをお待ちしております
FAX ▶ 017-534-4321
TEL ▶ 097-537-9111
mail ▶ yekichi@colombus.or.jp
ホームページアドレスはこちら URL ▶ http://www.yekichi.jp

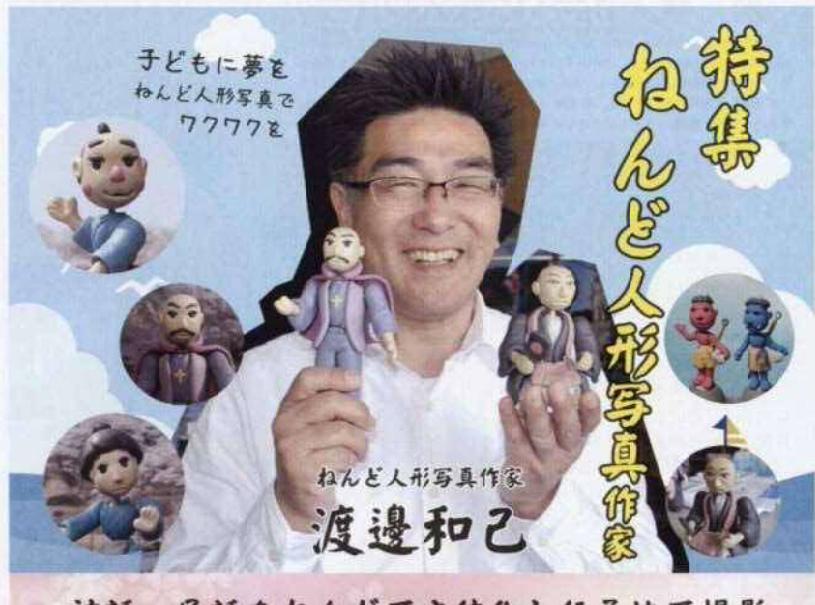
公益財団法人 大分県産業創造機構 経営支援課
大分県ビジネスプラングランプリ 検索
大分県津市出身、日本を代表する作家である柳原良平、村井義久、櫻井義久の前作である柳原良平がお手本としている、「夢のすみ」(吉田羊雄)、文部省之選等、多くの著書があり、特に「学生のすみ」の著書
福澤 諭吉

(5) 卒業後の展望

大分と世界＆未来をつなぐオウンドメディア これ一冊であなたも“大分の語り部”

OITA NO KATARIBE

大分の語り部
vol.02
2019.06-07

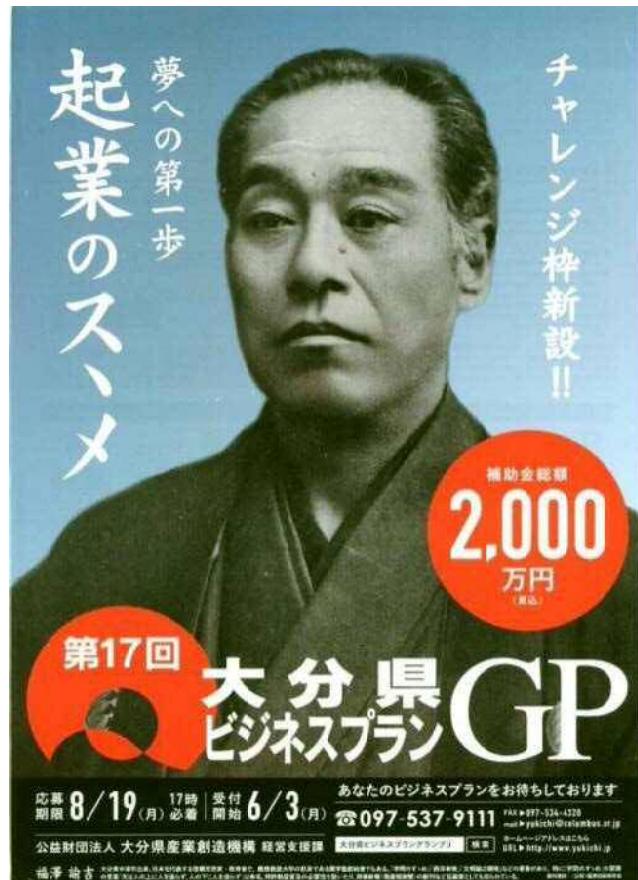


ご自由にお取りください

大分を面白く

(5) 卒業後の展望

○産業活性化プラザ 創業支援ルーム入居・・?



○東京進出・・?



○大分で初仕事進行中

大分市地域おこし協力隊 文化・芸術振興部門 佐賀関支所
卒業活動報告 渡邊和己

報告発表内容

- 【1】「3年間の活動を振り返る」
- 【2】「外部との連携の広がり」
- 【3】「大分市子ども風土記」新作制作中
- 【4】「『地域おこし』について考えたこと」
- 【5】「協力隊卒業後の展望」
- 【6】「大分の音楽」

大分市地域おこし協力隊
卒業活動報告

文化・芸術振興部門 佐賀関支所
渡邊和己

3年間、ありがとうございました。

